

【外来・HP 掲示用文書】

臨床研究

『組織アレイを用いた各種癌における糖鎖発現の網羅的解析』について

筑波大学附属病院消化器外科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関するお問い合わせ、または研究への参加を希望されない場合は、担当までご連絡をお願い致します。

本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究対象：以下の患者様を対象と致します。

当院で現在(2017年8月)までに胃癌、大腸癌、膵癌、肝臓癌、肺癌、乳癌、卵巣癌の診断で、腫瘍摘出手術をお受けになった患者様です。その中で、当臨床研究が当院の倫理委員会において承認される以前に、手術前の病状および手術内容の説明(インフォームドコンセント)においてご記載頂いた同意書のうち、手術検体を研究目的に使用する内容の書面に既に同意を頂いている患者様を対象と致します。

(注：本文書を病院の外来・ホームページに掲示することで、患者様個々への説明と同意文書取得の代替とさせて頂きたいと思っております。)

2. 研究期間

倫理審査委員会承認後～2021年12月31日まで

3. 研究目的

消化器がんをはじめとした癌は、医療が発達した現代においても、死因の大きな割合を占めています。

これまでの癌に対する薬物研究では、細胞表面のタンパク質を標的として研究開発が進められてきました。私たちの細胞の表面には、細胞の顔と称される「糖鎖」というものが発現しており、現在注目をされています。我々もその糖鎖に

着目し、同じつくば市内にある国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)と共同で、膵癌に特徴的に発現する新たなマーカーの候補となる「糖タンパク質」を発見しました。この糖タンパク質を利用することで、新しい診断方法、治療技術を見つけられる可能性があります。血液中に分泌された糖タンパク質を検出できれば、簡単に診断できることが期待できます。また、薬剤の目標とすることで、今までの開発されている薬剤とは違う作用を期待でき、より効果のある治療につなげられる可能性があります。

我々は膵癌だけでなく、他の組織のがんにも同じような「糖鎖」「糖タンパク質」があるのではないかと考えております。この研究を進めるためには、実際のヒトのがん組織から取り出すがん組織が不可欠となります。そこで、その材料となる貴重な組織の一部を手術を受けられる患者様から提供して頂きたいと考えています。

4. 方法

手術で摘出した検体から、病理学的診断に支障がないように、がん病巣の一部、及び正常部分の一部を採取致します。(1g)

採取した組織を、「糖タンパク質」を検出する試薬で染色し、各組織にどのくらい発現して、どのように分布しているのかを調べます。

5. 資料・情報の第三者への提供について

原則として資料・情報に関しては、当院のみでの利用といたします。

資料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学消化器外科 教授 小田竜也

6. 研究機関・研究者名

筑波大学附属病院 消化器外科

小田 竜也、下村 治、小澤 佑介、古田 智章

国立研究開発法人) 産業技術総合研究所 糖鎖工学レクチンチーム

平林 淳、舘野 浩彰

7. 保有する個人情報に関する利用目的

個人が特定されない形での論文発表、学会発表を行うことがあります。どの発表形式においても、個人を特定するような名前、住所、イニシャル、カルテ番号などの項目は使用致しません。

8. 保有する個人情報の開示手続

対象となった患者様あるいはご家族には研究内容についてお伝えすることが可能です。また本研究に診療情報を提供したくない方につきましても対応致しますので問い合わせ先にご連絡ください。

9. 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院消化器外科(対応時間：平日 9:00～17:00)

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

研究責任者： 消化器外科 小田 竜也

研究担当者： 消化器外科 小田 竜也

連絡先 電話： 029-853-3221 (平日 9:00～17:00)

029-853-3900 (救急外来, 上記以外の時間帯)

FAX： 029-853-3222

※担当医師または消化器外科の医師を呼び出してください。